

加速するドライバー・輸送能力不足

これまで OEM各社が自助努力

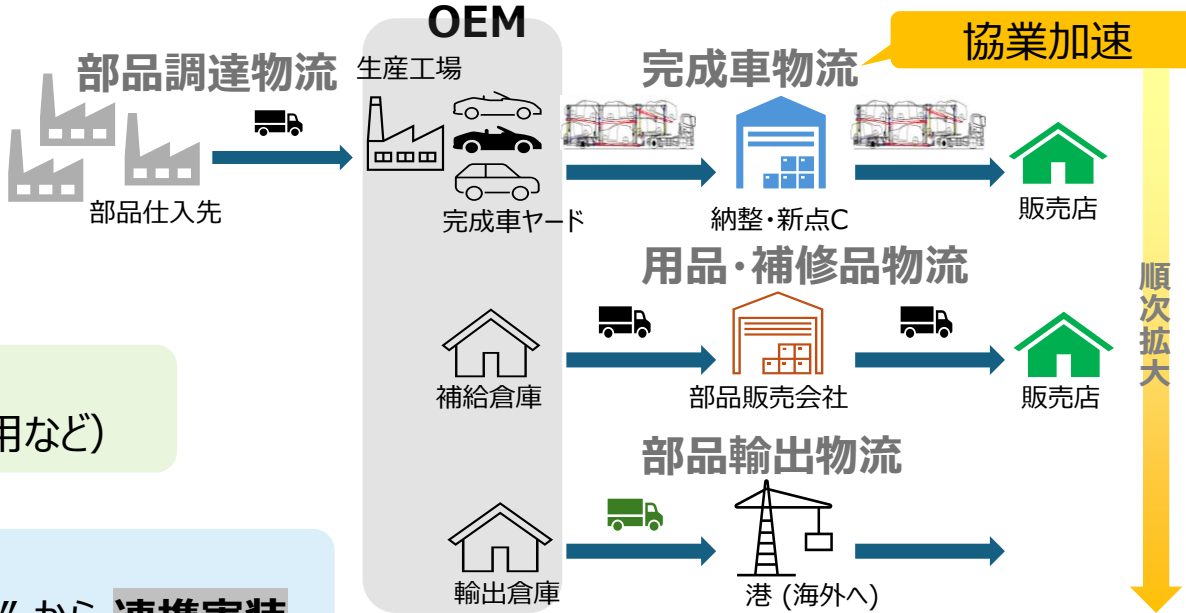
- ・改善による生産性up
- ・ドライバーの処遇改善など

現在 OEM協業の実証・効果確認

- ・共同物流（物流能力/アセット共用など）

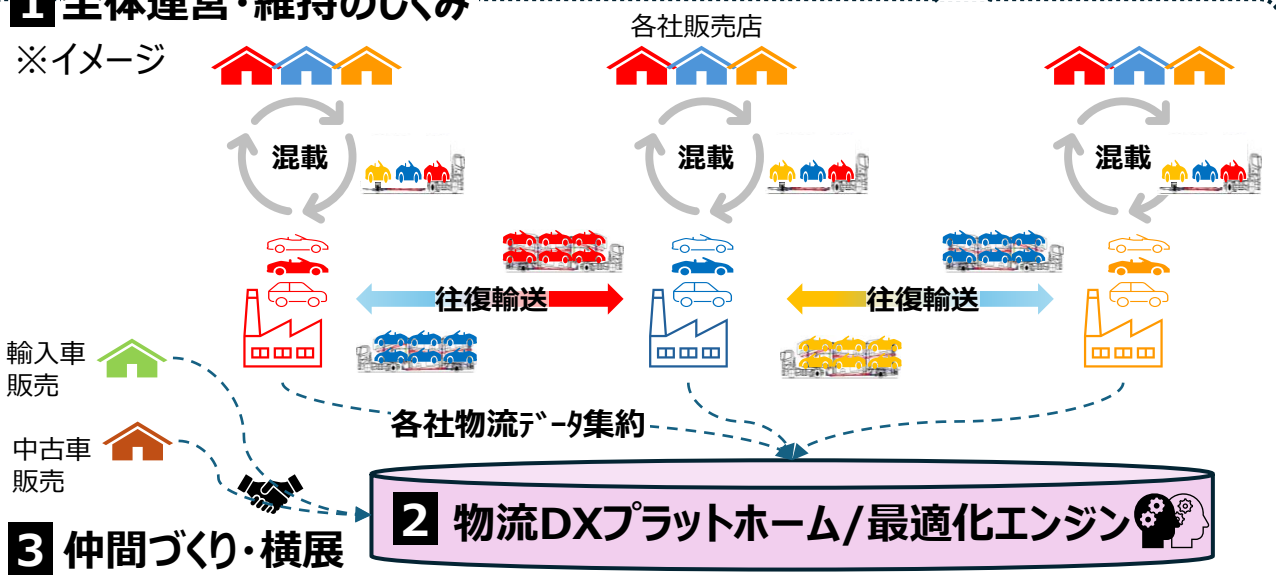
今年～ OEM協業の加速

- ・特殊なトラックを使う“完成車物流”から **連携実装**



1 全体運営・維持のしくみ

※イメージ



~KEY ACTION~

関係省庁・業界団体とも相談しながら推進

- 1 全体運営・維持のしくみ
先行する他業界からも学び、枠組み構築
- 2 物流DXプラットフォーム
/輸送計画の最適化エンジン開発
情報一元化・処理による輸送最適化
- 3 仲間づくり、横展
自工会に閉じないOPENな枠組み、
他の物流への横展、Japanスタンダード化